

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 まごころ		
○保護者評価実施期間	R 8 年 3 月 1 日		～ R8年 3 月 19 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	R 8 年 3 月 1 日		～ R8年 3 月 19 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	R 8 年 3 月 25 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育	個別療育時間を設けているのと、活動の中で個別集中という活動を行っている。	数人で行うのではなく、1対1で行える環境づくり、職員の体制を取っていくようにする。
2	調理レク	月に4回程度、調理レクを行い、食事のマナー等も身に着けられるようにしている。	提供だけではなく、一緒に調理ができるように職員の人数確保に努める。
3	国際交流	国際交流を行っていて、実際に外国人の方に来客してもらい英会話をおこなっていること。	活動内容をその曜日の利用児童に合わせて活動を考えていくようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との関わり	現状で手一杯になっているため、中々地域交流ができていないこと。	職員数を安定させて、管理者が外回りなどができるようにしていくこと。
2	父母の会	保護者様との茶話会などが開くことができていないこと。	日々の稼働により中々、父母会が開くことができていないので、予定を決めて営業ではなく保護者支援の部でとることができるように検討する
3	機関との連携	ケース会議などが定期的に行えていないこと。	現場を安定させて、定期的に外回りを行い、必要に応じて現場の職員等も参加できるようにしていく。